

官報

號外 昭和九年三月八日

○第六十五回帝國議會貴族院議事速記第二十四號

昭和九年三月七日(水曜日)午前十時十九分開議

議事日程 第二十四號
昭和九年三月七日
午前十時開議

第一 製鐵所特別會計法廢止法律案

(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第二 原蠶種管理法案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第三 軍用電氣通信法案 (政府提出) 第一讀會

第四 地租法中改正法律案 (衆議院提出) 第一讀會

出) 第一讀會

○議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

(瀨古書記官朗讀)
去ル三日議員服部金太郎君ニ對スル弔辭ヲ贈レリ

一昨五日本院ニ於テ採擇スルコトヲ議決シタル貴族院伯子男爵議員選舉規則中改正ニ關スル請願外二十一件ノ請願ハ各、意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日委員長ヨリ決算委員水野鍊太郎君ヲ第一分科擔當委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付

ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

第六十五回帝國議會陸軍省所管事務政府委員
陸軍少將 永田 鐵山君

昨六日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

製鐵所特別會計法廢止法律案
原蠶種管理法案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

農業倉庫業法中改正法律案
同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

地租法中改正法律案
同日決算委員第一分科會ニ於テ當選シタル主査ノ氏名左ノ如シ

主査 水野鍊太郎君

○議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、子爵西四辻公亮君ヨリ病氣ニ付キ會期中、關直彦君ヨリ病氣ニ付キ九日間ノ請暇ノ申出ガゴザイマシタ、許可ヲスルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 一昨五日、稻畑

勝太郎君ヨリ、都合ニ依リ鐵道敷設法中改正法律案特別委員ノ辭任ヲ、又同日安立綱之君ヨリ、病氣ニ付キ旭川市舊土人保護地處分法案特別委員ノ辭任ヲ、何レモ申出デラレマシタ、之ヲ許可スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス

勝太郎君ヨリ、都合ニ依リ鐵道敷設法中改正法律案特別委員ノ辭任ヲ、又同日安立綱之君ヨリ、病氣ニ付キ旭川市舊土人保護地處分法案特別委員ノ辭任ヲ、何レモ申出デラレマシタ、之ヲ許可スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス、右稻畑君ノ補闕トシテ大島健一君ヲ、又安立君ノ補闕トシテ光永星郎君ヲ指名イタシマス

○議長(公爵近衛文麿君) 昨六日柴田善三郎君ヨリ、病氣ニ付キ第四部選出豫算委員ノ辭任ヲ、又同日水野鍊太郎君ヨリ、病氣ニ付キ第八部選出決算委員ノ辭任ヲ、何レモ申出デラレマシタ、許可ヲスルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス、就キマシテハ其選出ノ各部ニ於テ、速ニ補闕選舉ヲ行ハレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ議事日程ニ移リマス、日程第一、製鐵所特別會計法廢止法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、高橋大藏大臣

製鐵所特別會計法廢止法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月六日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿

製鐵所特別會計法廢止法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月六日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿

製鐵所特別會計法廢止法律案

製鐵所特別會計法ハ昭和八年度限り之ヲ廢止ス

製鐵所特別會計ニ於ケル現金及權利義務ハ之ヲ一般會計ニ歸屬セシム

昭和八年度製鐵所特別會計ノ歳出豫算ニ於ケル支出殘額ハ之ヲ一般會計ニ繰越シ使用スルコトヲ得

(國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル)

○國務大臣(高橋是清君) 只今議題トナリマシタ製鐵所特別會計法廢止法律案、提出ノ理由ヲ説明イタシマス、日本製鐵株式會社ノ設立ニ伴ヒマシテ、製鐵所特別會計ハ將來之ガ存置ノ必要ガアリマセヌド、大體本年度ニ於テ收支ノ事務ヲ完了イタシマシテ、昭和八年度限り之ヲ廢止スルヲ適當ト認メタノデゴザイマス、其爲ニ本法律案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望スル次第デアリマス

○議長(公爵近衛文麿君) 御質疑ガナケレバ、特別委員ノ氏名ヲ朗讀イタサセマス

(小林書記官朗讀)

製鐵所特別會計法廢止法律案特別委員
侯爵徳川 頼貞君 子爵吉田 清風君
子爵土御門晴善君 男爵高崎 弓彦君
大橋新太郎君 各務 鎌吉君
森 平兵衛君 下出 民義君
油井 徳藏君

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第二、原蠶種管理法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、後藤農林大臣

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

事日程 第二十四號

議長ノ報告

會議

請暇ノ件

委員辭任ノ件

日程第一及第二ノ件

二七五

院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和九年三月六日
衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿
原蠶種管理法

原蠶種管理法
原蠶種管理法

第一條 政府ハ蠶種ノ統制ヲ圖ル爲原蠶種ノ製造ヲ管理ス

第二條 本法ニ於テ原種トハ原蠶種ニシテ普通蠶種ノ製造ニ用フルモノヲ謂ヒ原原種トハ原蠶種ニシテ原種ノ製造ニ用フルモノヲ謂フ

第三條 原原種ノ製造ハ政府之ヲ行フ

政府ハ其ノ製造ニ係ル原原種ヲ府縣ニ配付ス但シ第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ニ之ヲ配付スルコトヲ得

第四條 前條ノ規定ニ依リ政府ノ製造配付スベキ原原種ノ品種ハ蠶品種審査會ノ議ヲ經テ主務大臣之ヲ定ム
蠶品種審査會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ヨリ配付セラレタル原原種ヨリ産出シタル繭ヲ用ヒテ原種ヲ製造シ蠶種製造者ニ之ヲ配付スベシ

前項ノ規定ニ依ル原種ノ製造及配付ニ關シ必要ナル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ府縣ニ對シ其ノ原種製造設備ニ要スル經費ノ二分ノ一以內ヲ補助スルコトヲ得

第六條 政府又ハ府縣ハ第三條、前條第一項又ハ第十二條ノ規定ニ依リ配付スル原原種又ハ原種ニ對シ勅令ノ定ムル

所ニ依リ料金ヲ徵收スルコトヲ得
第七條 原原種及原種ノ配付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 蠶種製造者ハ原蠶種ヲ製造スルコトヲ得ズ
第九條 蠶種製造者ハ前條ノ規定ニ拘ラズ原種ノ製造ニ限り命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ政府ヨリ配付セラレタル原原種ヨリ産出シタル繭ヲ用フルニ非ザレバ原種ヲ製造スルコトヲ得ズ

第一項ノ許可ヲ受ケ製造シタル原種及其ノ蠶兒ハ之ヲ讓渡スコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十條 蠶種製造者ハ府縣ヨリ配付セラレタル原種又ハ前條第一項ノ許可ヲ受ケ製造シタル原種ヨリ産出シタル繭ヲ用フルニ非ザレバ普通蠶種ヲ製造スルコトヲ得ズ

蠶種製造者ハ府縣ヨリ配付セラレタル原種及其ノ蠶兒ヲ讓渡スコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條 蠶種製造者普通蠶種ヲ製造セントスルトキハ主務大臣ノ定メタル交配形式ニ依ルベシ
主務大臣前項ノ交配形式ヲ定メントスルトキハ蠶品種審査會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

第十二條 天災其ノ他不可抗力ニ因リ原種ノ製造又ハ配付ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テハ府縣ハ主務大臣ノ許可ヲ

受ケ他ノ府縣ヨリ原種ヲ讓受ケ之ヲ蠶種製造者ニ配付シ又ハ政府ヨリ原原種ノ配付ヲ受ケ之ヲ原種トシテ若ハ既ニ配付ヲ受ケタル原原種トシテ蠶種製造者ニ配付スルコトヲ得

第十三條 蠶種ノ輸入、移入、輸出又ハ移出ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第十四條 主務大臣ハ蠶種製造者ニ對シ蠶種ノ統制上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第十五條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ニ對シ設備ノ改善ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十六條 第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ノ所爲ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十七條 當該官吏取締上必要アリト認ムルトキハ蠶種製造者又ハ第十三條ノ許可ヲ受ケタル者ノ事務所、營業所、製造場、倉庫等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ他ノ書類ヲ調査シ又ハ必要ナル分量ニ限り無償ニテ物品ヲ收去スルコトヲ得

主務大臣又ハ地方長官本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲アリト認ムルトキハ當該官吏員ヲシテ前項ニ掲ゲタル場所ニ臨檢シ被疑者若ハ參考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明

スベキ物件、帳簿、書類ヲ搜索シ若ハ之ガ差押ヲ爲サシムルコトヲ得
臨檢、尋問、搜索又ハ差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス
主務大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ蠶種製造者又ハ第十三條ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第十八條 第八條、第九條第二項第三項、第十條、第十一條第一項又ハ第十三條ノ規定ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス
第十九條 第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 第十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ同條ノ規定ニ依ル處分ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者
二 第十七條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者
三 第十七條第四項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

第二十一條 第十八條ノ犯罪ニ係ル蠶種、蠶兒又ハ繭ハ之ヲ沒收シ若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザル場合ハ其ノ價額ヲ追徵ス
前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒取スルコトヲ得

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 第十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ同條ノ規定ニ依ル處分ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者
二 第十七條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者
三 第十七條第四項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

第二十一條 第十八條ノ犯罪ニ係ル蠶種、蠶兒又ハ繭ハ之ヲ沒收シ若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザル場合ハ其ノ價額ヲ追徵ス
前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒取スルコトヲ得

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 第十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ同條ノ規定ニ依ル處分ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者
二 第十七條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者
三 第十七條第四項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

第二十一條 第十八條ノ犯罪ニ係ル蠶種、蠶兒又ハ繭ハ之ヲ沒收シ若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザル場合ハ其ノ價額ヲ追徵ス
前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒取スルコトヲ得

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 第十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ同條ノ規定ニ依ル處分ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者
二 第十七條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者
三 第十七條第四項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

第二十一條 第十八條ノ犯罪ニ係ル蠶種、蠶兒又ハ繭ハ之ヲ沒收シ若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザル場合ハ其ノ價額ヲ追徵ス
前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒取スルコトヲ得

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 第十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ同條ノ規定ニ依ル處分ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者
二 第十七條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者
三 第十七條第四項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

第二十二條 蠶種製造者又ハ第十三條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第二十三條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條 本法中府縣ニ關スル規定ハ北海道ニ於テハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

蠶絲業法第二條中「稱スルハ」ノ下ニ「府縣ヲ除クノ外」ヲ加フ

蠶絲業法第七條ヲ削除ス

蠶絲業法第十條中「蠶種製造者」ヲ「府縣及原蠶種管理法第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者」ニ改ム

蠶絲業法第十一條ノ二左ノ一項ヲ加フ
府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ検査ヲ行フベシ

蠶絲業法第十二條中「及第十七條ノ検査ニ合格シタル蠶種」及「原蠶種又ハ」ヲ削除ス

蠶絲業法第十八條及第二十四條ヲ削除ス

蠶絲業法第三十七條第一項中「本法若ハ

本法ニ基キテ發スル命令」ヲ「本法若ハ原蠶種管理法又ハ之ニ基キテ發スル命令」ニ改ム
蠶絲業法第三十九條第三號ヲ削除
蠶絲業法第四十一條第一項中「第三號」ヲ削除

〔國務大臣後藤文夫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(後藤文夫君) 原蠶種管理法案、提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、從來我國ノ蠶絲業ハ海外ニ於ケル生絲需要ノ増加ニ刺激セラレマシテ、増産ノ一途ヲ進ンデ參ツタノデアリマス、然ルニ近年ニ至リマシテ海外機業ノ進歩ニ因リマシテ、優良齊一ノ生絲ヲ益、要望セラレルコトニナリマシタノト、一面ニ更ニ人造絹絲工業ノ非常ナ進歩ニ伴ヒマシテ、茲ニ生絲ノ品位ノ向上ト生産費ノ低減トニ依ツテ、本邦蠶絲業ノ維持更生ヲ圖ルノ要ガ極メテ切實ナモノアルヲ痛感セラレルニ至ツタノデゴザイマス、然ルニ現在我國ニ於テ飼育セラレテ居リマスル蠶ノ品種ハ、其數ガ實ニ六百種以上ニ上ボツテ居リマス、雜駁、混淆ヲ極メテ居ルノデアリマス、從テ繭及生絲モ亦區々トシテ齊一デナイト云フコトヲ免レナイ状態ニアリマス、之ガ爲ニ養蠶者ハ作柄ノ不安定ト出費ノ増大ニ惱ミマスシ、蠶種製造者ハ無謀ノ競争ト蠶種過剩ノ弊ニ苦シムノデアリマス、又製絲業者ハ原料繭ノ雜駁ノ爲ニ線絲ノ能率ノ惡イノト生絲ノ品質ノ不整ニ煩ハサレルト云フヤウナ状態デアリマス、斯ノ如キ状態ヲ以テ致シマシテハ、容易ニ品質ノ改善ト生産費ノ低下ヲ圖ルコトハ期シ難イノデアリマス、ソレノミナラズ今後我國ノ蠶絲業ハ其關係ノアル各業ニ互リマシテ、相當ナ統制的ナ施設ヲ講ズルノ要

ガ緊切デアルコトガ感セラレルノデアリマス、生産ノ根源デアリマス蠶種ニ付テ適當ノ統制ヲ講ズルノデナケレバ、所期ノ效果ヲ收メ難イト考ヘラレルノデアリマス、政府ニ於キマシテハ既ニ早クカラ、優良ノ蠶品種ノ選出、育成ヲ致シマシテ、更ニ之ヲ配布普及スルコトニ努力ヲ致シテ、之ガ實施ヲシテ參ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ原蠶種ノ製造ガ民間當業者ノ手ニ委ネラレテアルト云フ有様デアリマスノデ、到底政府ガ今イタシテ居ルヤウナ蠶種ノ配布普及、優良ナル蠶種ノ配布普及ノ方法ヲ及、目的ヲ達成シ難イノデアリマシテ、茲ニ原蠶種ノ製造ヲ國家ニ於テ管理ヲシテ、尙ホ必要ニ應ジテハ蠶種ニ關スル統制施設ヲモナシ得ル制度ヲ立テマスルコトガ急務デアアルト認メマシテ、今般原蠶種管理法ヲ制定シ、蠶種ノ統制、原蠶種ノ製造管理ヲ行ハムトスルモノデアリマス、本法案ノ骨子トスル所ノ大要ヲ申上ゲマスレバ、一、原蠶種ノ製造ハ國家ノ手ニ之ヲ管掌イタクシマス、二、原蠶種ノ製造ハ道府縣ニ自家用原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ニ限ツテ、政府ノ製造配布シタル原種ヲ用ヒテ之ヲ製造セシメルノデアリマス、三、普通蠶種ハ蠶種製造者ヲシテ道府縣ニ自家用原種製造ノ許可ヲ受ケケタ蠶種製造者ノ製造イタクシマシタル原種ヲ用ヒ、主務大臣ノ定メタ支配形式ニ依ツテ、之ヲ製造セシムルコトト致スノデアリマス、四、蠶種ノ輸移出入ヲ許可制度ト致シテ取締ヲ致シマス、五、更ニ蠶種ノ統制ニ關シテ當業者ガ自治的ノ方法ニ依リマシテ、十分ナ效果ヲ期シ得ザルヤウナ非常ナ事態ノアリマス場合ニハ、之ニ對シテ政府ニ於テ統制ニ關スル命

令ヲナシ得ルコトト致シタルデアリマス、以上ガ本法案ノ大要デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御協贊アラムコトヲ切望イタクシマス

○子爵池田政時君 只今議題ニ相成リマシタ原蠶種管理法案ハ、重要ナル法案デアリマスガ故ニ、其特別委員ノ數ヲ十五名トシ、其指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出イタクシマス

○子爵西大路吉光君 贊成

○議長(公爵近衛文麿君) 池田子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタクサセマス

〔小林書記官朗讀〕
原蠶種管理法特別委員
侯爵山内 豐景君 侯爵大隈 信常君
伯爵黒木 三次君 子爵伊集院兼知君
子爵片桐 貞央君 子爵大岡 忠綱君
男爵足立 豐君 男爵肝付 兼英君
男爵岩村 一木君 今井 五介君
阿部房次郎君 宇野 勇作君
長野 忠次君 大西虎之介君
武井覺太郎君

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第三、軍用電氣通信法案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、立見委員長ノ登壇ヲ望ミマス

軍用電氣通信法案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和九年三月三日

委員長 子爵立見 豐丸

貴族院議長公爵近衛文麿殿

〔子爵立見豐丸君演壇ニ登ル〕

○子爵立見豐丸君 軍用電氣通信法案特別

委員會ノ經過並ニ結果ヲ申上ゲマス、三月

一日第一回ノ委員會ヲ開キマシテ、正副委

員長ノ互選ニ引續キ質疑ヲ致シマシタ、超

エテ三月三日第二回委員會ヲ開キマシテ、

質疑ヲ續行イタシマシタ、是等ノ質疑應答

ノ結果ニ依リマシテ、次ノヤウナ諸點ヲ明

カニ致シマシタ、第一、名稱ヲ改メマシテ

而シテ第一條ニ軍用電氣通信ノ定義ヲ下シ

マシタ、第三條ニ其施設スベキ場所ヲ示シ

マシテ、以テ法案適用ノ範圍ヲ明カニシテ

ゴザイマス、第二、管理ニ付キマシテ種々

質問ガゴザイマシタガ、要スルニ私設ノ電

氣通信ニ軍用電氣通信ヲ連接共用イタシマ

シテモ、其管理ハ軍部ニハ歸シマセヌ、但

シ軍事ノ必要ニ依リマシテ、其私設通信設

備ノ全部ヲ舉ゲテ徵發令ニ依ッテ徵用シタ

時ハ別デゴザイマス、國有電線ニ軍用通信

ヲ連接共用イタシマス時ハ、其時ノ狀況ニ

依ッテ定メマス、有事ノ際ニ全國ノ通信機關

ヲ舉ゲテ總動員ヲシマシテ、其管理ヲ如何

ニスベキヤト云フヤウナ問題ハ、此法案ノ

範圍外デアリマシテ、別ノ場合ニ研究セラ

ルベキモノデアリマス、第三、建設ノ爲メ

民有地ニ立入ルコト、或ハ補償ニ付テノ

出訴ノ手續、サウ云フ點ニ付キマシテ聊カ

疑義ニ互ル點、或ハ不便ヲ感ズル點ガアルヤ

ウニ見受ケラレマスガ、ソレハ將來補足ノ

命令ヲ發布セラレ、或ハ運用ニ注意ヲシテ、

其疑義或ハ不便ヲ除カレルサウデアリマ

ス、第四、罰則ニ付キマシテ、現行軍用通

信法ノ罰ハ電信條例ノ刑ニ比シマシテ、各、

一等ヲ加ヘルコトニナツテ居リマスガ、今
回ノ法案ニ於キマシテハ、假令目下思想ガ
惡化ヲシテ居ルト云フコトヲ考ヘマシテ
モ、特ニ軍事通信デアルカラト云フ譯デ、
罪ヲ重クスルト云フ必要ガナイト云フコト

デ、無線電信法或ハ電信法ト同等ノ刑ニナツ
テ居リマス、但シ罰金刑ニ付キマシテハ貨
幣價值ノ下落ト云フコトヲ考ヘマシテ、概

ネニ倍ニナツテ居リマス、次ニ罰則ノ中ノ第
十三條、是ハ他ノ法令ニ無イ罰則デゴザイ

マスガ、軍事通信、殊ニ無線ノ通信ニ於キ
マシテ、其發信所ノ發見ヲ防グト云フ考カ

ラ、特ニ此罰則ヲ設ケテゴザイマス、大要
質疑等ハ右ノ如クデアリマシタ、尙ホ詳細

ハ速記録ニ就テ御覽アラムコトヲ望ミマ
ス、此質疑ヲ終リマシタ後、速記ヲ止メマ

シテ一時懇談ヲ致シ、其後討論ニ移リマシ
タガ、討論ニ於テハ大シタ異論モナク、全

會一致ヲ以テ本法案ヲ可決イタシマシタ、
右御報告申上ゲマス

○議長(公爵近衛文麿君) 本案ノ第二讀會
ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認
メマス

○西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開
カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵毛利元恒君 贊成

○議長(公爵近衛文麿君) 直ニ本案ノ第二
讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 全部ノ問題ニ供

シマス、委員長ノ報告通りデ御異議ハゴザ
イマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵毛利元恒君 贊成

○議長(公爵近衛文麿君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 直ニ第三讀會ヲ
開キマス、第二讀會ノ決議通りデ御異議ゴ
ザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認
メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第四、地租
法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

地租法中改正法律案
右本院提出案及送付候也
昭和九年三月六日
衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿

地租法中左ノ通改正ス
第十條ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ青森縣、岩手縣、宮城縣、秋田縣、
山形縣、福島縣、北海道、福井縣、石
川縣、富山縣、新潟縣、長野縣、鹿兒島
縣、大島郡及沖繩縣ハ百分ノ二・六トス

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
○議長(公爵近衛文麿君) 特別委員ノ氏名
ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス
〔瀨古書記官朗讀〕

地租法中改正法律案特別委員
侯爵細川 護立君 伯爵兒玉 秀雄君
子爵大河内輝耕君 松村 義一君
加藤政之助君 金子元三郎君
藤原銀次郎君 小林嘉平治君
岩崎 清行君

○議長(公爵近衛文麿君) 本日ノ議事ハ是
ニテ終リマシタ、次會ノ議事日程ハ決定次
第、彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ
是ニテ散會イタシマス
午前十時四十二分散會